GX・カーボンニュートラル対応セミナー

一般財団法人 省エネルギーセンター

12/18（金） 2026

企業連携講座
14:00 ~16:40
Zoom WEBINAR

雪国・北陸の現場から考える エネルギー費に負けない 熱のつくり方・使い方

空調・ボイラ・ヒートポンプで、コスト削減と 取引先からのCO_2削減要請に応える WEBセミナー LIVE 配信

定員 100名（先着順）

受講料 無料

主催：（一財）省エネルギーセンター ／ 協賛：三谷産業イー・シー（株）／ 協力：三谷産業（株）、三浦工業（株）

エネルギー価格の高止まりに加え、取引先やサプライチェーンからCO_2排出量の削減を求められる機会が増えています。
北陸三県では、冬季の暖房や給湯、製造工程における蒸気・温水など、熱エネルギーの安定確保と効率的な利用が重要な課題です。
本セミナーでは、A重油からLPガスへの変更を入口に、空調、ボイラ、ヒートポンプを個別の設備としてではなく、事業所全体の熱利用として捉えます。生産や業務への影響、ランニングコスト、CO_2排出量、設備更新を踏まえ、自社に適した熱源と省エネ対策を選ぶための考え方を、各分野の専門企業と省エネルギーセンターが実務の視点から紹介します。

講演 Program

※本セミナーは、Web 会議・セミナーツール「Zoom」による Live 配信のセミナーです。
接続の開始は**13時50分頃から**を予定しています。（内容やタイトルが変更になる場合があります）

1 エネルギー価格と取引先からの CO_2削減要請にどう向き合うか

30分

― 燃料・電気・省エネを組み合わせた設備更新の考え方 ―

講演：一般財団法人 省エネルギーセンター 顧客支援部

エネルギー価格の変動や取引先からのCO_2削減要請を踏まえ、これからの熱源設備に求められる考え方を整理します。燃料の変更、電化、運用改善、設備更新を個別に判断せず、エネルギー使用状況や費用対効果を確認しながら、自社に適した省エネを進めるための視点を紹介します。

2 A重油からLPガスへ 燃料を変えて、生産現場を見直す

30分

― 生産性向上とランニングコスト削減を目指す設備改善 ―

講演：三谷産業イー・シー 株式会社

A重油を使用する熱設備について、LPガスへの変更によって期待できる環境性、運用性、設備管理面の効果を解説します。単に燃料を置き換えるだけでなく、生産ラインや熱の使い方も見直し、生産性の向上とランニングコストの低減につなげる検討手順や導入時の注意点を紹介します。

3 省エネは、設備更新の前から始まっている

30分

― 見える化・運用改善・補助金活用のすすめ ―

講演：三谷産業株式会社

省エネというと高効率設備への更新をイメージしがちですが、まず重要なのは現在の設備の使われ方を知ることです。エネルギー使用状況を「見える化」し、運用を改善したうえで設備更新を検討する。さらに補助金を活用する。そんな省エネの進め方を事例とともに紹介します。

4 ボイラとヒートポンプの最適な組み合わせ

30分

― 未利用熱を活かす熱電ソリューション ―

講演：三浦工業株式会社

工場で必要となる温度帯や熱の使い方を整理し、ボイラとヒートポンプを適切に組み合わせる方法を解説します。排温水や排熱など、これまで十分に利用されていなかった熱を有効活用し、燃料使用量とCO_2排出量の削減につなげる熱電ソリューションを紹介します。

講演の合間に休憩をとる予定です。セミナー講演終了後、16:25ごろからQ&Aの実施を予定しております。

お申込み確認後、事務局より Zoom の 招待メール を送信いたします。 要事前申込

お問い合わせ

省エネルギーセンター 顧客支援部 ◆メール seminarjyukousya@eccj.or.jp

※本セミナーに関する電話でのお問い合わせについてはご対応しておりません。

参加お申し込みはこちらの「WEB」フォームをご利用ください。

テキストの事前配布は行いません。ご希望の方は、セミナー終了後アンケートにご協力ください。
申し込みフォームがご利用いただけない場合は上記アドレスに メールにてお申込みください。

※本セミナーはWEB会議システムを使用して配信いたします。ご視聴環境については予めご自身でご確認ください。

申し込みしめきり日 12/16